

本学図書館のスペシャル・コレクションより (58)
 ナポレオンのエジプト遠征に
 よって生まれた書物の話
 ————— 奥 正敬 22~25

映画史に残る不朽の名作
 本学図書館の所蔵本から (3)
 ————— 吉田明弘 26

これぞ本学図書館の主題別書誌データベース②
 「対外交渉史の中の漂流記」
 ————— 藤田眞壽美 27

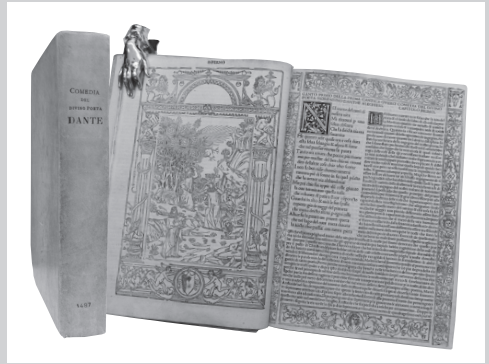
日本の歴史59
 『異人たちが見た日本史：戦国から明治まで
 外国人が発見したニッポン』
 ————— 稲垣宏行 28

文献紹介 (5)
 中国史いろいろ 皇帝の名前
 ————— 戸田奈緒子 29

Book Review Corner ————— 30~31

● 図書館利用案内 ●

ライブラリー・カレンダー
 2019 (7月~9月) ————— 32



DANTE, Alighieri
Comedia del divino poeta
 Venetia, 1497

ダンテ・アリギエーリ
 『神曲』
 ヴェネツィア、1497

イタリア文学史上最大の傑作『神曲』はダンテ・アリギエーリ (1265-1321) によって書かれました。当時、ダンテの故郷フィレンツェは、ヨーロッパで最も繁栄した都市国家のひとつであり、この地に起った人文主義の運動は、やがて全ヨーロッパに展開して行ったルネサンスの素因をなすものでした。この運動の先駆者といわれるべき人たちのうち、最も偉大な人物がダンテでありました。

『神曲』は、ダンテ自身が主役として登場し、人生の半ば頃、正しい道を踏み外して罪業の森をさまよっているとき、天の命令で、天啓の象徴ベアトリーチェに救われ、ヴェルギリウス (ダンテの最も好んだローマの詩人) に導かれて、彼岸の世界をめぐることを物語る一大叙事詩です。地獄、煉獄、天国の三界を巡る旅路で出会うさまざまな亡霊との対話、導者ヴェルギリウスの説明、霊の世界の描写には、古代から中世にかけてのあらゆる知識が網羅されており、古典ギリシア・ローマの世界観と中世的世界観とが見事に融合されています。

本書は、15世紀に印刷術が普及され始めた頃の印刷本のひとつであり、ルネサンス期の人文主義者クリストフォーロ・ランディーノ (1424-92) の注釈が付けられており、いわゆるランディーノ版の『神曲』と称して、16世紀初頭までイタリアで一般に流布されていた唯一の版でした。この注釈本の初版は1481年に、フィレンツェで出版されましたが、本書は、更に入念に校訂され、1497年ヴェネツィアで出版されたものです。